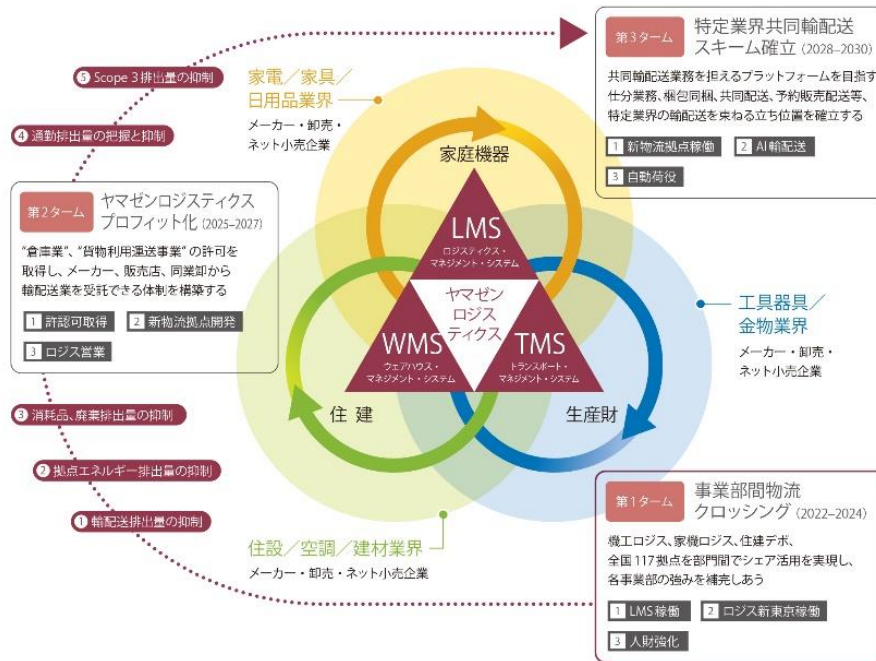


2023年1月25日

当社初となる LMS・WMS の導入でサービス向上を図る  
 ～物流資産を事業部横断でシェア（物流クロッシングの推進）～

株式会社山善（大阪本社：大阪市西区／代表取締役社長：長尾雄次 以下、当社）は、当社初となる LMS（統合物流管理システム）と WMS（倉庫管理システム）を 2023 年 1 月 5 日より、当社の物流拠点である「ロジス新東京」、「ロジス福岡」に導入し、経過監視期間を経て本稼働させましたのでお知らせします。これにより、事業部ごとに個別運用してきた当社の物流資産を事業部横断（物流クロッシング）でシェアすることが可能となり、物流コストの削減と、顧客へのサービスレベル向上を図ります。



当社として初めて LMS・WMS を導入することで、物流費の可視化を行いながら、物流コストの削減と適切な価格での商品提供を図っていきます。また、当社の物流資産を全社でシェアする足がかりができました。これにより、事業部横断で物流拠点の持つ配送機能の相互利用を実現しながら、よりフレキシブルな配送体制の構築を目指します。

具体的には、全国に展開する「住建デポ」を中心とした事業部別の全 117 拠点について、今後、事業部横断的な活用を進めるとともに、さらに、LMS に毎日の物流データを蓄積することで、分析・検証のスピードアップを行い、当社の物流体制を日々最適なものへとアップデートさせていきます。

また、WMS は株式会社セイノー情報サービスの「SLIMS」（スリムス）を採用しました。入出庫管理をスムーズにペーパーレスで行うことでコスト削減に繋げるとともに、新規物流拠点の立ち上げのスピードアップも図れる体制を整えます。そして、「SLIMS」と TMS（配車システム）を連携させることで、運行管理を行いながら、配送情報を顧客と共有するなど、物流のサービスレベルの向上を図っていきます。



そして、3カ年中期経営計画「CROSSING YAMAZEN 2024」では2022年度から2024年度にかけて、400億円の成長投資枠を設定しており、物流設備等を含めた設備投資には100億円の投資枠を設定しております。その中で、「物流 DX」「環境負荷低減」といったテーマに取り組みながら、次代の物流システムの確立を追求していきます。

今後も当社は、パーパスである「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かな暮らしをリードしてまいります。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。

閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承下さい。

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 広報・IR室 担当 本井  
電話 06-6534-3095  
E-mail : info07@yamazen.co.jp